

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 28 年度

市町村名	三芳町			
提案事業名	緑のトラスト14号地「藤久保の平地林」活用事業			
事業期間	29 年度	～	29 年度	
事業の必要性、目的	埼玉県と三芳町で共同実施します「埼玉県緑のトラスト保全地第14号地整備事業」、三芳町、広くは埼玉県の地域資源である緑地（雑木林）を活かした魅力ある地域づくりの実現のため本事業を実施する。トラスト保全地を整備することで、訪れる利用者への安全を確保し、さらにはトラスト地としての魅力を最大限に発揮することができ、貴重な癒し空間の提供を実現する。また地域で活躍する緑地保全団体、教育機関、企業等、様々な団体の協力のもと緑のトラスト保全地14号地を活用した体験型イベントの実施。住民への緑化普及啓発と多世代間交流を目的とした地域の魅力再発見の実現を期待し実施			
成果指標	（成果を検証する指標） トラスト14号地の年間利用者数			
	（成果検証の具体的な方法） 団体利用の場合、県（トラスト協会）もしくは町に事前の申し込み等があるため、それらにより利用者数を集計する。			
	（上記の指標を設定した理由） トラスト保全地を整備し一般公開（H30.3月予定）することで、多くの県民に緑地保全活動や環境教育、企業の社員研修など様々なかたちでの活用を想定している。利用者数が増えるということは、利用者の満足度が高いことを意味し、結果として本事業の成果が大きかったと判断できるため上記指標とした。 現状値として、町の緑地保全団体が毎月1回（夏季除く）、年9回、保全地の整備活動をしているため9日×20人＝180人とする。 目標値は各種団体による活用は土曜、日曜、祝日が多いため、一般公開後の翌年度（平成30年度）の一年間の土、日、祝日の日数（114日）の30%に当たるの34日を活用日数として、34日×20人＝680人とする ※現状値および目標値における1団体の利用者数は20人と仮定する。			
	（成果の目標値）			
	現状値 (H29年1月現在)	180	目標値 (H30年3月末時点)	680
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標） (人)	680	稼働率(目標)(%)	100%
住民への公表方法及び特記事項	町ホームページにおいて、事業内容、目標値を住民に公表する。またトラスト利用者へアンケートを行い、事業実施の評価を行い、今後の改善策等の検討をする。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成29年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 緑のトラスト14号地「藤久保の平地林」整備事業	【概要】 緑のトラスト保全地14号地内の枯損木の処理および散策路、隣地境界柵、案内看板の設置などの整備事業 【成果指標との関連性】 保全地を整備することで、トラスト地「藤久保の平地林」の持つ貴重な緑地空間、歴史的な自然環境が最大限に発揮され、訪れる利用団体等の数も増加し、住民福祉の満足度の向上に寄与すると考える。	9,274 (6,198)
② 藤久保の平地林で遊ぼう！「第1回みどりの癒しフェスタ」	【概要】 地域で活躍する緑地保全団体、教育機関、企業等、様々な団体の協力のもと緑のトラスト保全地14号地を活用した住民向け緑化普及啓発イベントの実施。 【成果指標との関連性】 本イベントを実施することで、訪れた方が自然を体験し、身近な緑に興味関心も持ってもらい、地域の魅力を再発見してもらい狙いがある。イベント参加者を中心に多くの方々がりピーターとなりトラスト地を活用してもらおうことが期待できる。	704 (480)
合計		9,978 (6,678)

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	広報、ホームページ、町内全戸配布等により町内の住民へトラスト地活用を呼び掛ける。また町内外の各種団体には個別通知やホームページにより周知をする。また上記イベントの他、トラスト地を活用した事業を行政として展開し、1人でも多くの方に活用していただけるよう取り組んでいく。
成果指標の達成見込み	町としてトラスト地ほどの広範囲な緑地を公有地化したことは初めての取組であり、町民にとっても大変有意義な場所になると思われる。身近に気軽に足を運べる貴重な癒し空間があるということは、現状値を上回る年間活用回数が期待できる。